

株式会社 日宣



NISSEN

2018年2月期
決算説明会資料

平成30年4月20日

証券コード:6543

目 次

- 1 エグゼクティブサマリー
- 2 事業内容
- 3 2018年2月期決算概要
- 4 2019年2月期業績予想及び重点施策
- 5 株主還元
- 6 会社概要

1 エグゼクティブサマリー

エグゼクティブサマリー

■ 売上高	4,711百万円	前期比	0.4%増
■ 営業利益	342百万円	前期比	8.7%減

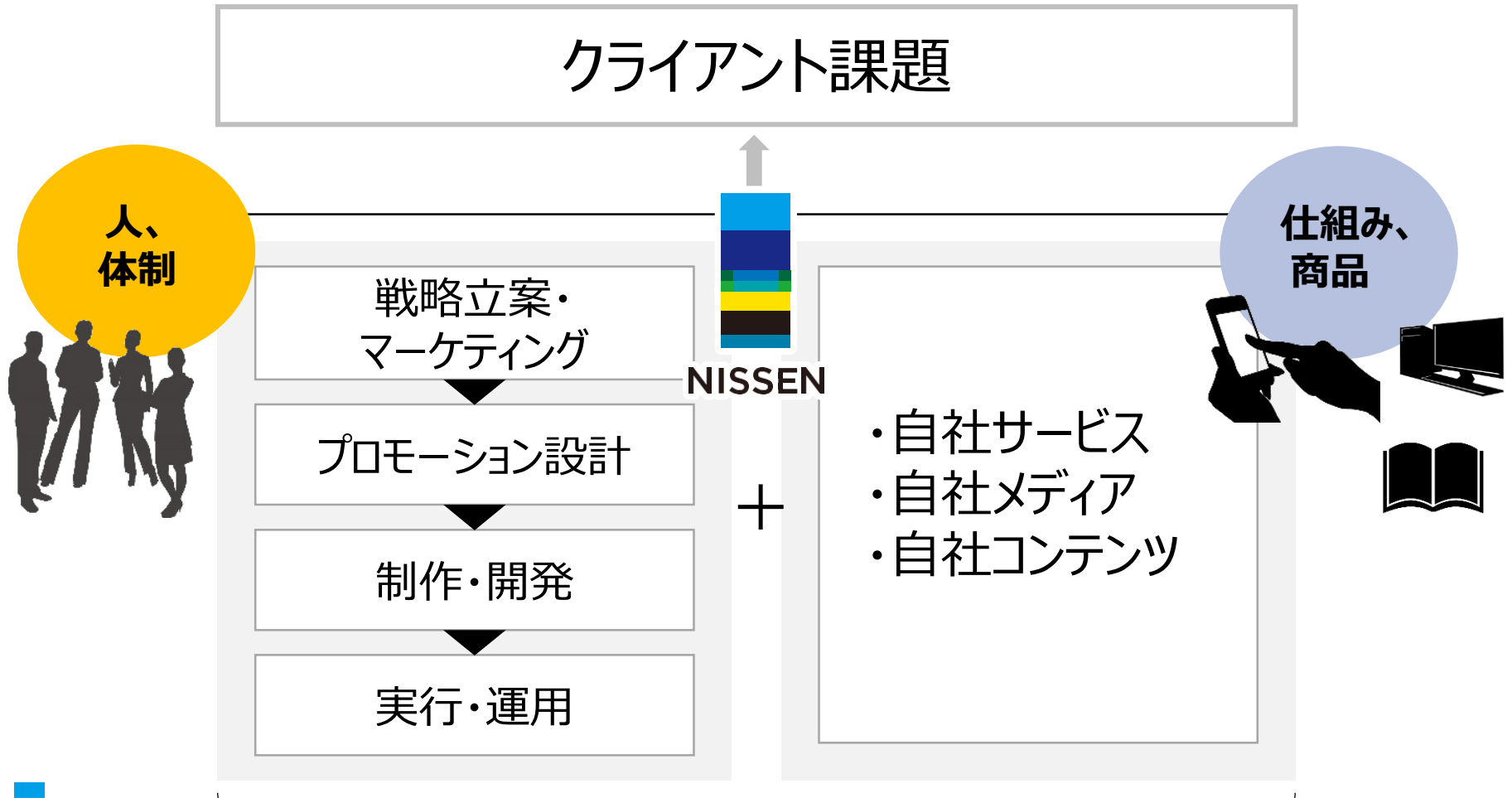
当期のトピックス

- 放送・通信業界 前期比3.6%増。堅調に業績が推移。
- 住まい・暮らし業界 前期比8.3%減。旭化成ホームズ向けが計画未達。
- 医療・健康業界 前期比10.1%減。大口顧客がキャンペーン未実施。
- その他業界 前期比30.3%増。新規顧客が寄与し、業績が大きく伸長。

2 事業内容

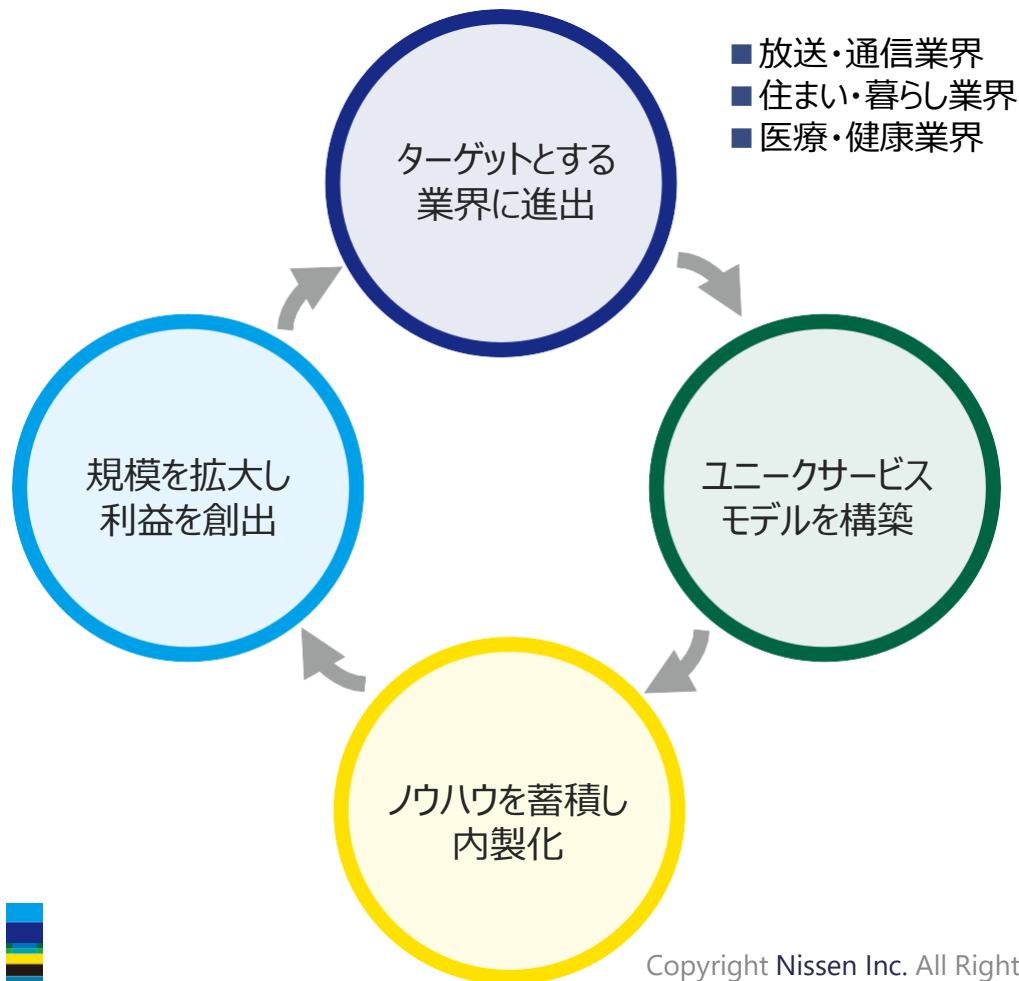
業務内容

クライアント課題に対し、戦略立案から企画設計・制作まで一貫して実行、**自社で創造したメディア等**で解決

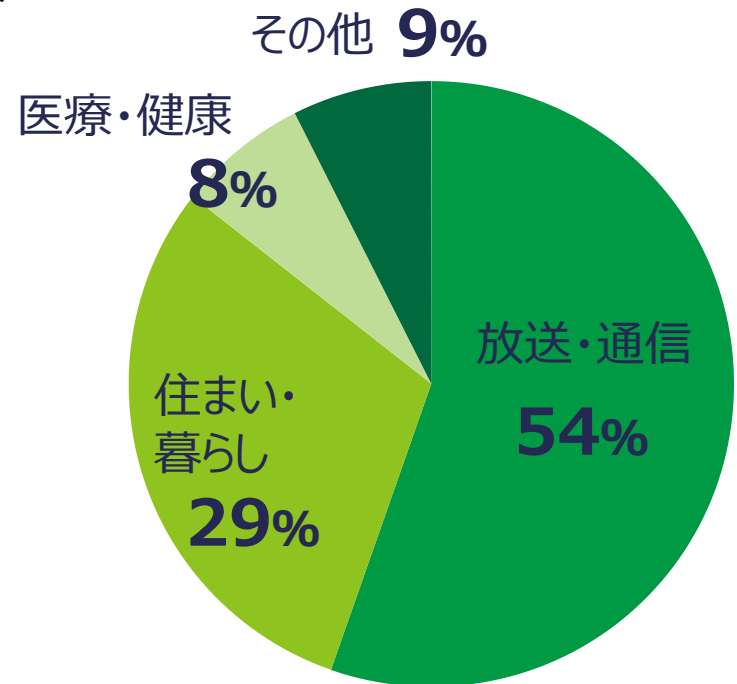


ビジネスモデル

ターゲットとする業界を定め、
ユニークサービスモデルを構築し、規模を拡大。



顧客業界別売上構成



※2018年2月期実績

3 2018年2月期決算概要

2018年2月期 連結損益計算書

■ 売上高	前期比	0.4%増
■ 営業利益	前期比	8.7%減
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	前期比	152.5%増

単位：百万円	17年2月期	18年2月期	前期比
売上高	4,690	4,711	0.4%
売上総利益	1,192	1,144	△4.0%
販売管理費	817	801	△1.9%
営業利益	375	342	△8.7%
売上高営業利益率	8.0%	7.3%	-0.7pt
経常利益	418	380	△8.9%
親会社株主に帰属 する当期純利益	259	654	152.5%
当期純利益率	5.5%	13.9%	+8.4pt

連結貸借対照表

■ 旧日本ビル売却と借入金返済に伴い、**自己資本比率改善**

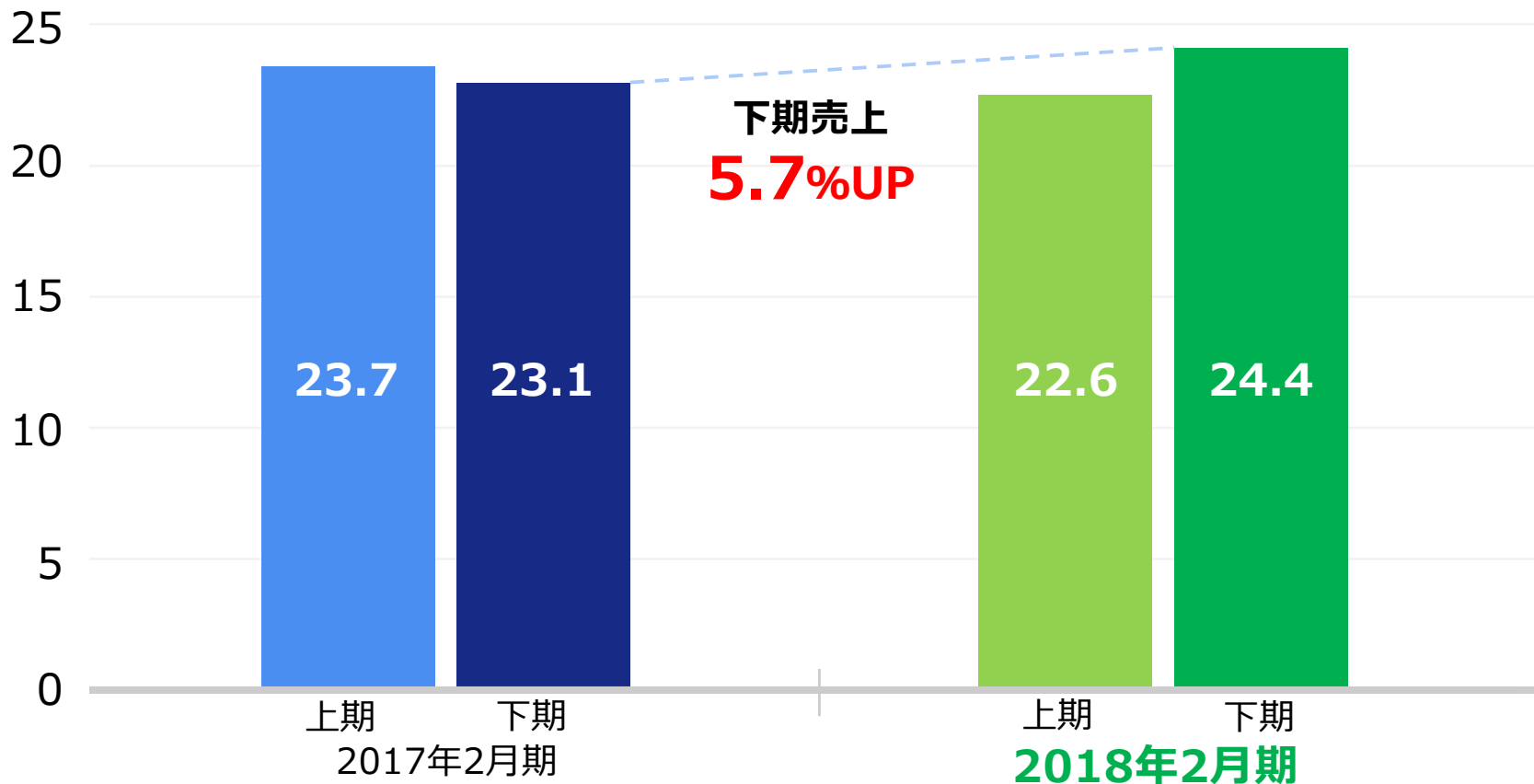
単位：百万円	17年2月期	18年2月期	前期比
流動資産	1,870	2,174	16.3%
現金及び預金	1,284	1,508	17.4%
固定資産	2,586	2,257	△12.7%
有形固定資産	2,339	1,924	△17.7%
資産合計	4,457	4,431	△0.6%
流動負債	813	861	5.9%
固定負債	1,646	988	△40.0%
長期借入金	1,433	647	△54.8%
負債合計	2,460	1,849	△24.8%
純資産	1,996	2,582	29.3%
負債純資産合計	4,457	4,431	△0.6%
自己資本比率	44.8%	58.3%	+13.5pt

連結売上高推移

2018年2月期は2Qが不調だったが、下期より回復基調

連結売上高推移

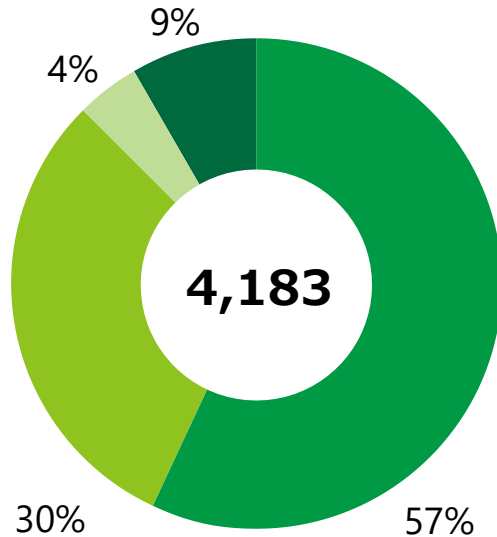
(単位：億円)



広告宣伝事業 業界別売上推移

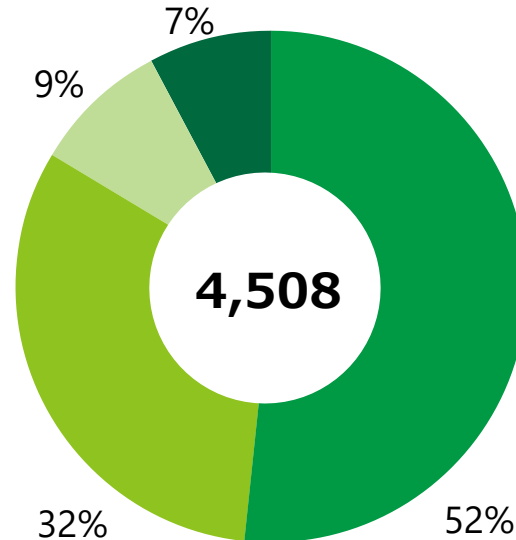
(単位：百万円)

2016年2月期



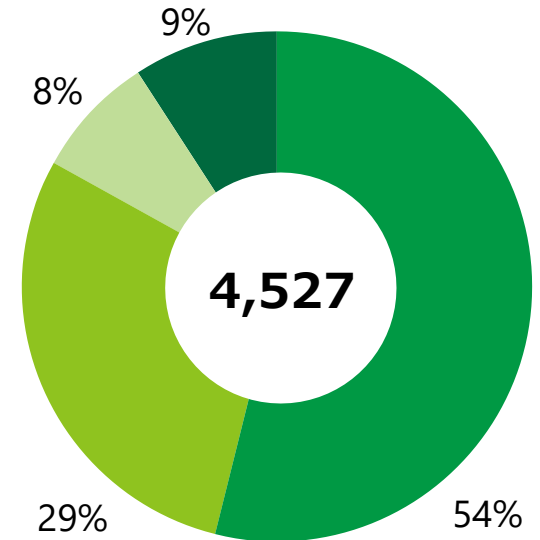
放送・通信	2,391
住まい・暮らし	1,270
医療・健康	173
その他	346

2017年2月期



放送・通信	2,355
住まい・暮らし	1,451
医療・健康	391
その他	310

2018年2月期

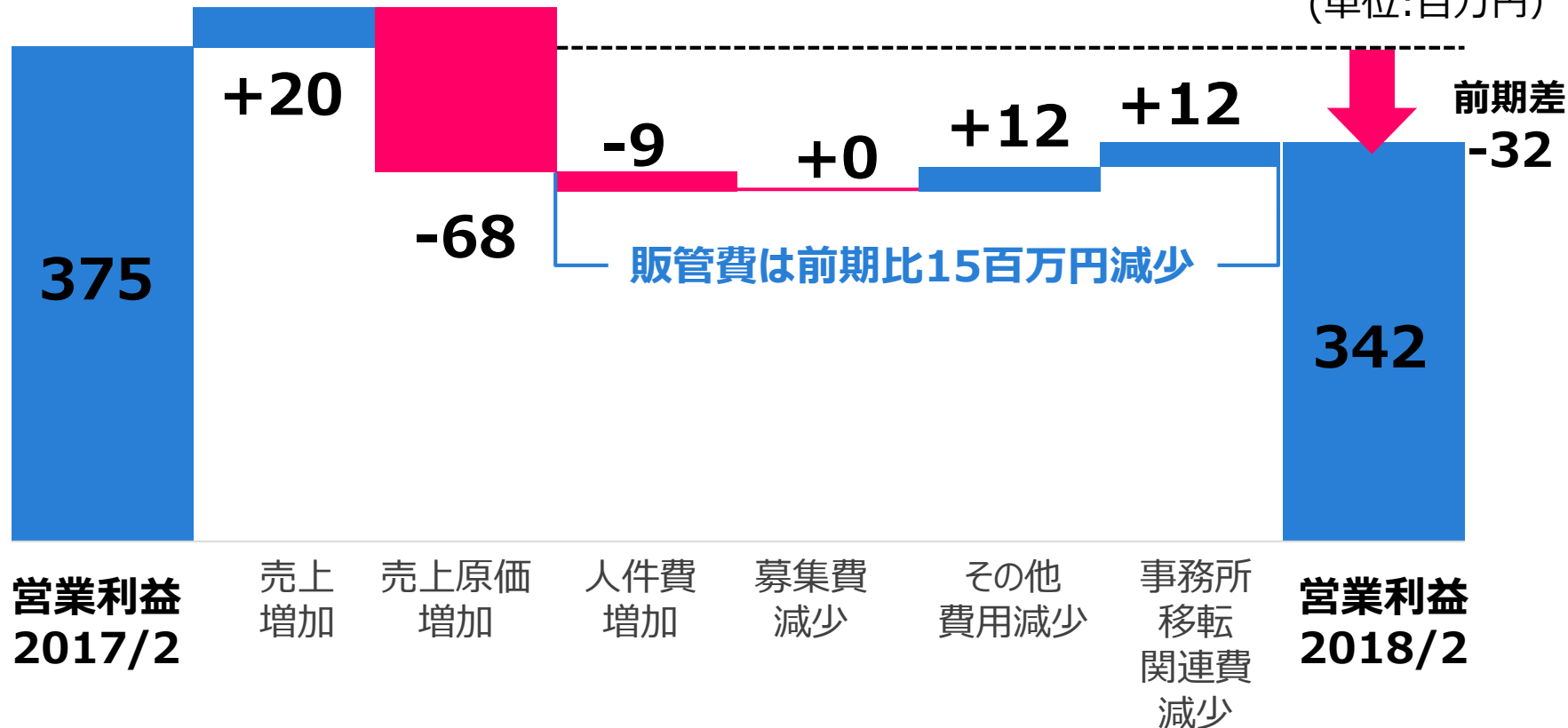


放送・通信	2,440
住まい・暮らし	1,330
医療・健康	351
その他	404

利益の概況：営業利益の増減

- 売上原価の増加 新規顧客・新規案件増に伴うセールスミックスの変化による外注費の増加、制作体制の強化に伴う人件費の増加
- 販管費の減少 各種コスト削減の実施により人員は増加したが販管費を減少

(単位:百万円)



4 2019年2月期業績予想及び重点施策

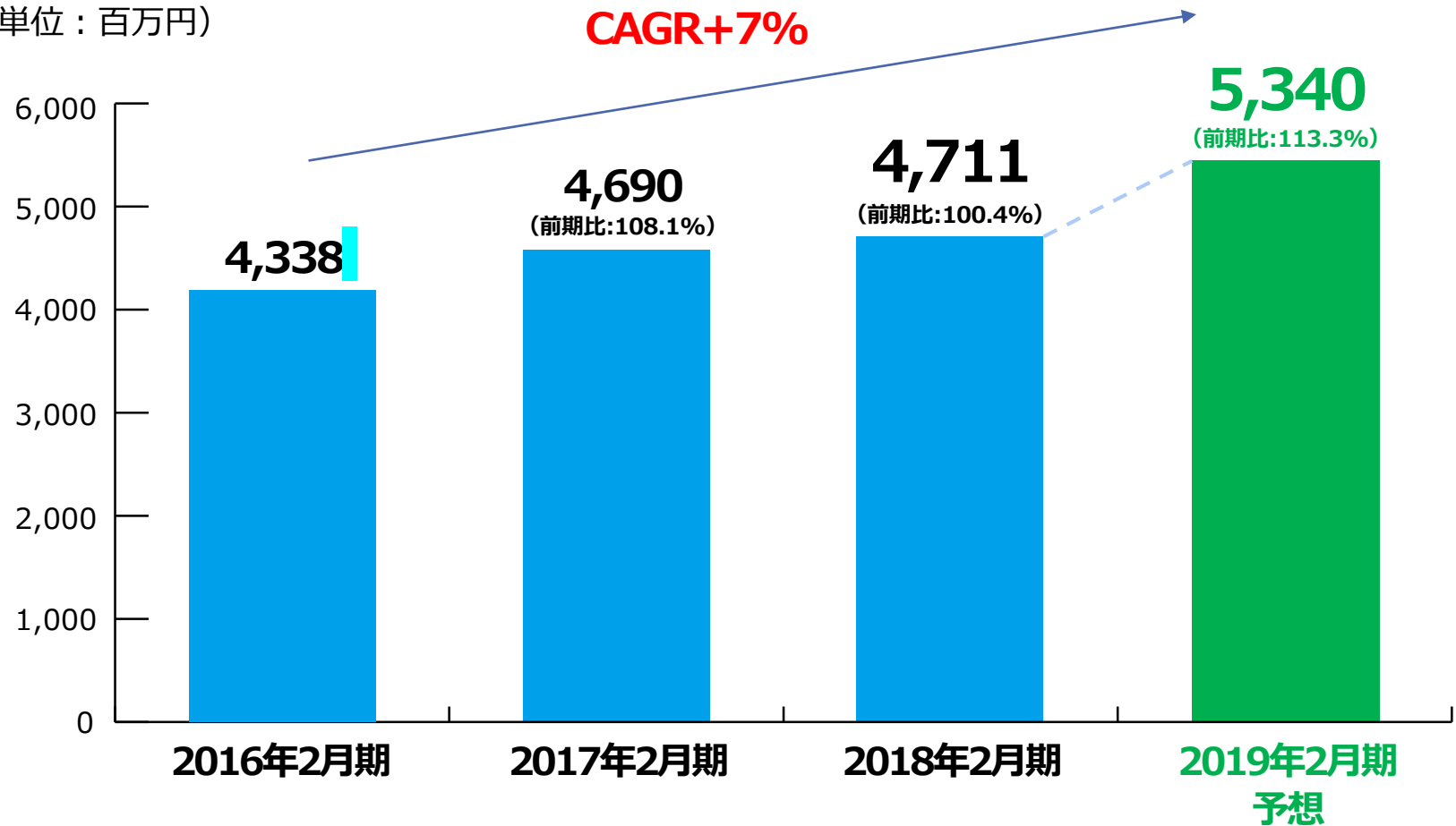
2019年2月期通期連結業績予想

■ 売上高 5,340百万円	前期比	13.3%増
■ 営業利益 376百万円	前期比	9.9%増
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	前期比	60.7%減

単位：百万円	18年2月期 (実績)	19年2月期 (予想)	前期比
売上高	4,711	5,340	13.3%
営業利益	342	376	9.9%
営業利益率	7.3%	7.0%	-0.3pt
経常利益	380	382	0.5%
親会社株主に帰属 する当期純利益	654	257	△60.7%
当期純利益率	13.9%	4.8%	-9.1pt

連結売上高予想

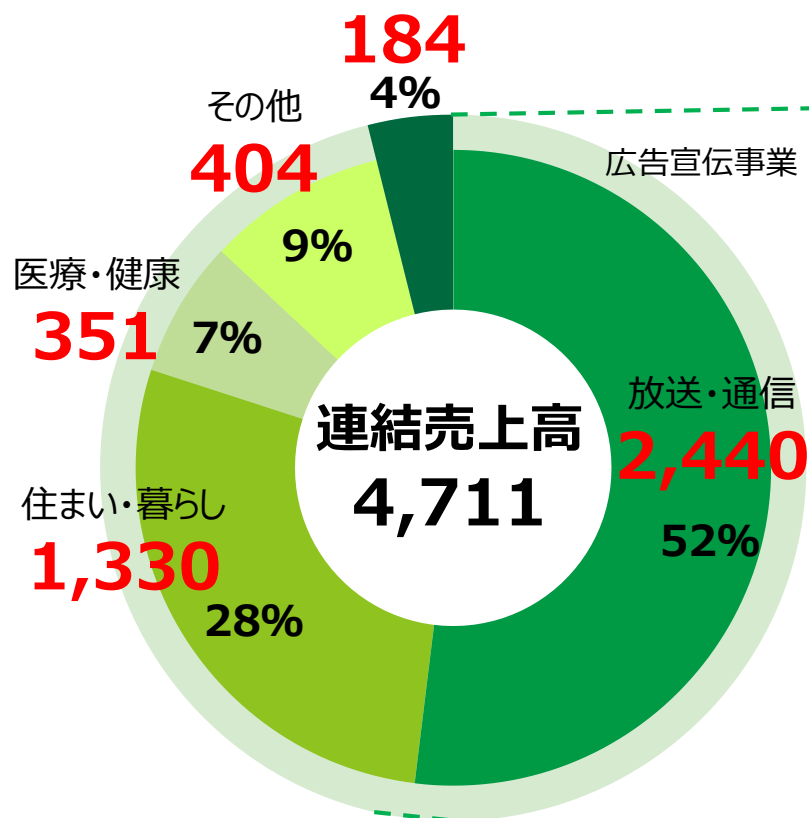
(単位：百万円)



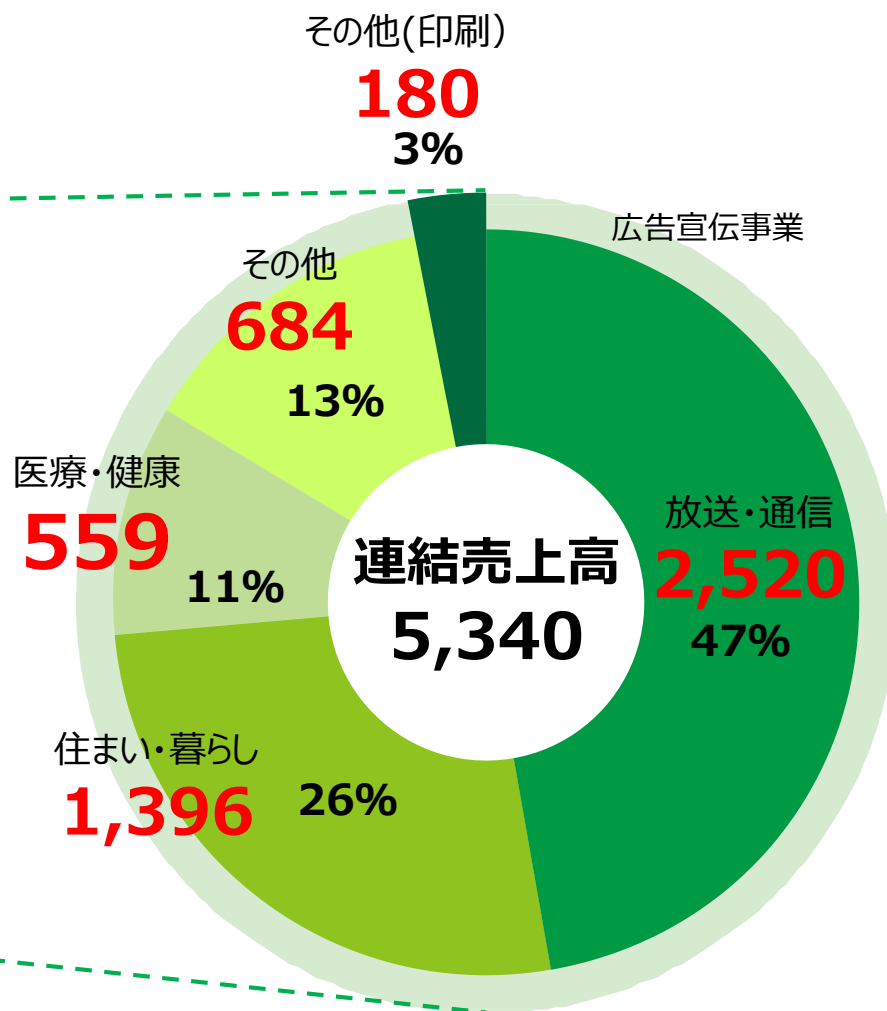
連結売上高の内訳

- 引き続き、新しい領域に重点投資し、成長を加速させる。

(単位：百万円) その他(印刷)



2018年2月期

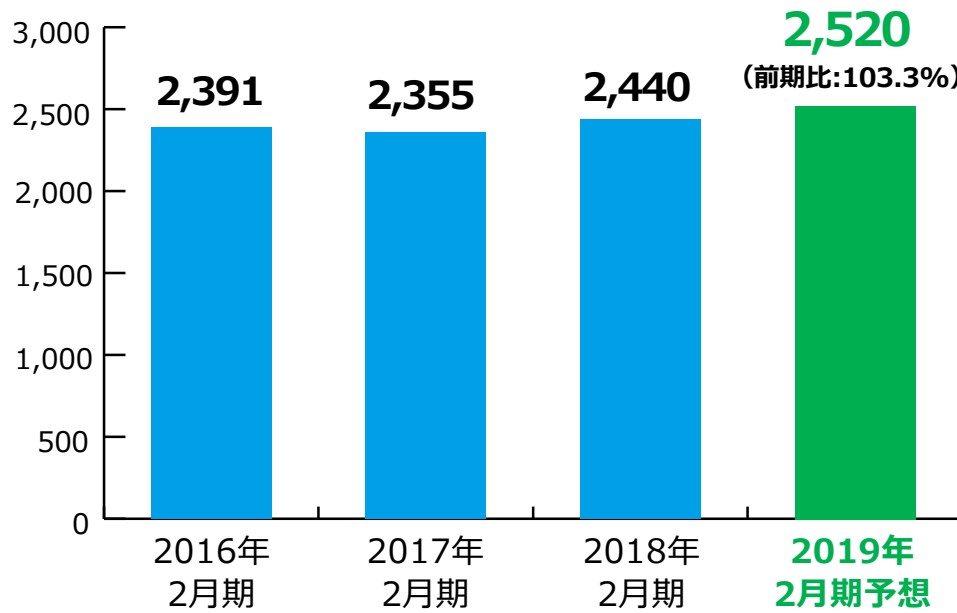


2019年2月期予想

放送・通信業界の取り組み

- 2018年2月期は大手通信キャリアからの受注が好調で、堅調に成長。
- 2019年2月期はケーブルテレビ局に安定的に「チャンネルガイド」を提供することに加え、デジタル施策等を展開強化するほか、大手通信キャリアからのセールスプロモーションの受注拡大を含め、堅調な成長を見込む。

(単位：百万円)



チャンネルガイド

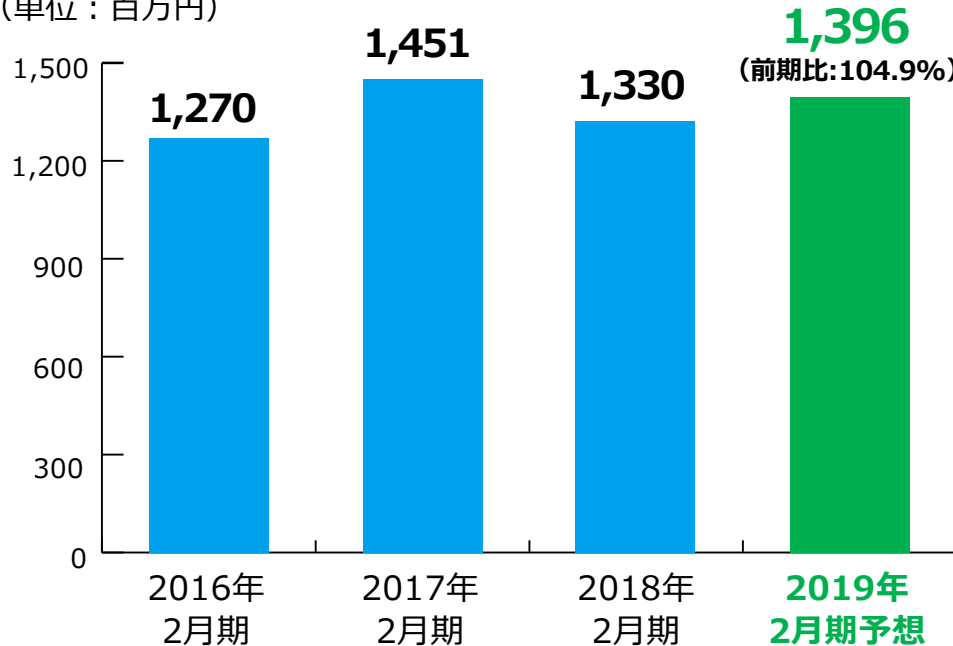


レコメンドサイト

住まい・暮らし業界の取り組み

- 2018年2月期は旭化成ホームズ以外の受注は伸びたが、主力顧客である旭化成ホームズからのキャンペーンが低調であり、売上減少をカバーできなかった。
- 2019年2月期は引き続き、旭化成ホームズ以外の顧客企業からの受注拡大を強化するほか、営業と制作の一体化を進め、顧客へのサービス提供力を強化し、売上の回復・拡大を見込む。

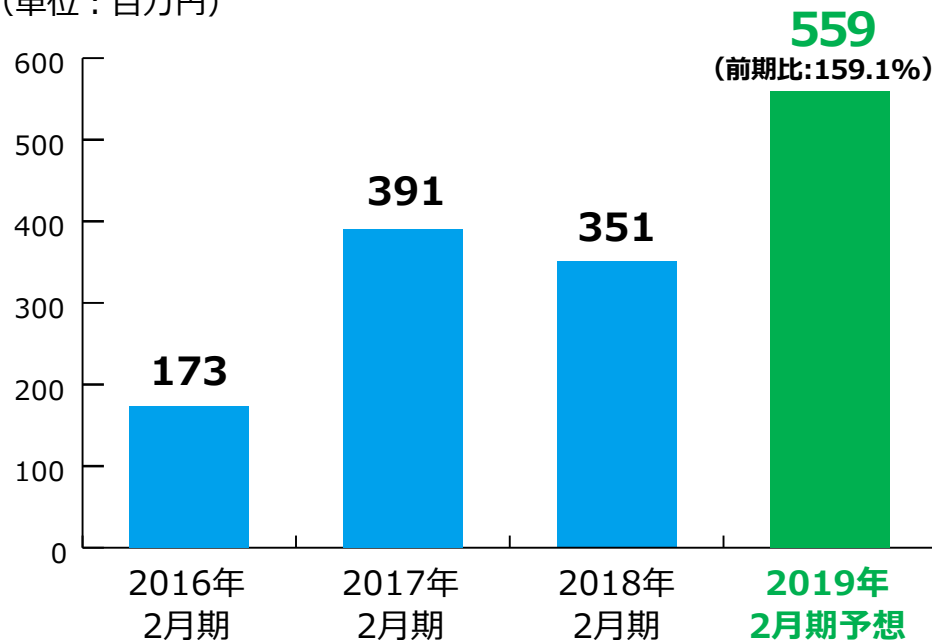
(単位：百万円)



医療・健康業界の取り組み

- 2018年2月期はドラッグストア関連企業向けのプロモーションは増加したものの、主力顧客の製薬企業にて大型キャンペーンが実施されなかった影響が大きく、売上減少をカバーできなかった。
- 2019年2月期は既存製薬企業に対して、サービスを継続して提供するほか、新規顧客として大手ドラッグストアチェーンより大型案件を受注。

(単位：百万円)



ドラッグストアの取り組み強化

- 以前より発行している無料情報誌「キータ」・「リキータ」はメーカーからの広告集稿ビジネス。
- 2019年2月期は、大手ドラッグストアチェーンが新たに発行するコミュニケーション冊子（月刊）を受託。引き続き、ドラッグストア業界の流通対策費を活用するセールスプロモーション施策の提案を強化していく。



「KiiTa」



「Re:KiiTa」

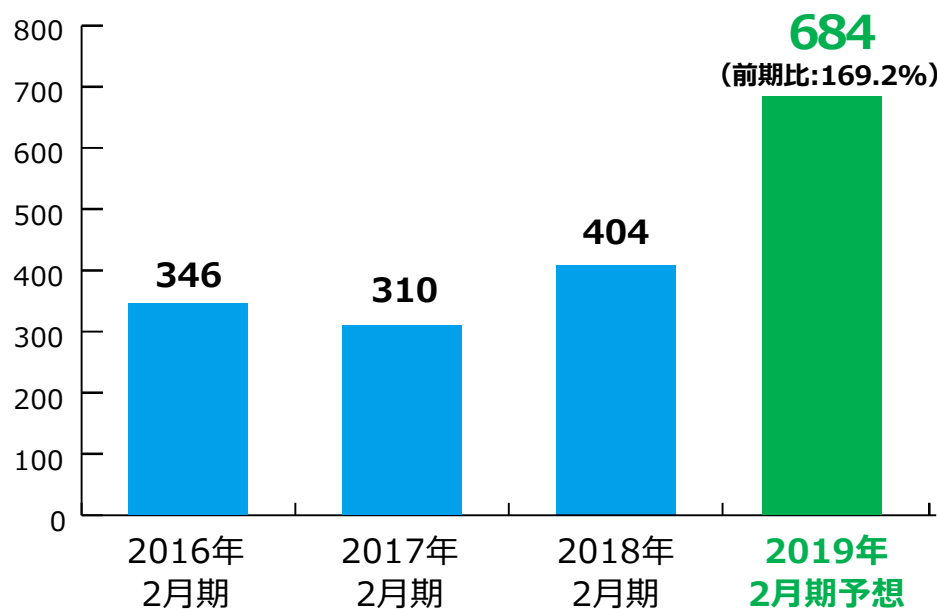


コミュニケーション冊子

その他業界の取り組み

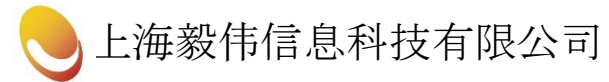
- 2018年2月期は大手飲食チェーン等を中心に新規顧客を開拓し、大きく成長。
- 2019年2月期は昨年開拓した大手飲食チェーンを大きく伸ばしていくほか、既存重点顧客攻略と新規開拓を進める。新たな取り組みとして中国ビジネスの拡大を進めることと、デジタル領域でのサービス強化を図る。

(単位：百万円)



日中ビジネスの取り組み強化

- 2018年1月に上海の広告会社と業務提携。



- ネットワークを活用することで中国企業からの受注拡大を目指す。



- 2019年2月期は中国企業側のパートナーとして日本コンテンツのアウトバウンド推進や中国コンテンツの日本での展開を支援。



「ムサシ」の上海公演



AnimeJapanへの出展

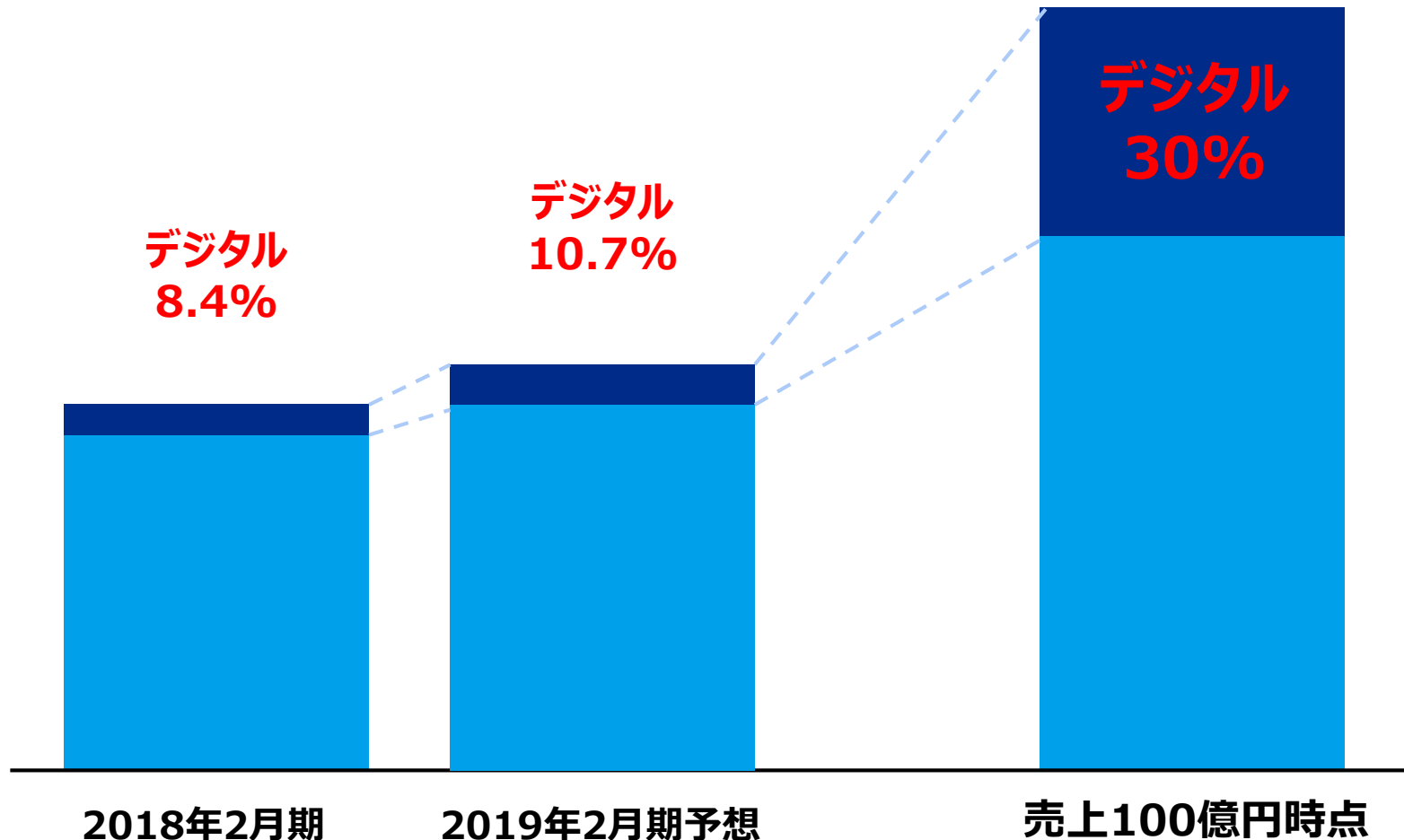
デジタル領域の取り組み強化

- 2018年2月期は既存顧客に対してインターネット広告を中心に拡販。
- 2019年2月期はインターネット広告に加えて、デジタルテクノロジーを活用したプロモーション領域の取り組みを強化。
- デジタル領域に関する自社メディア立ち上げ・展示会開催を予定。



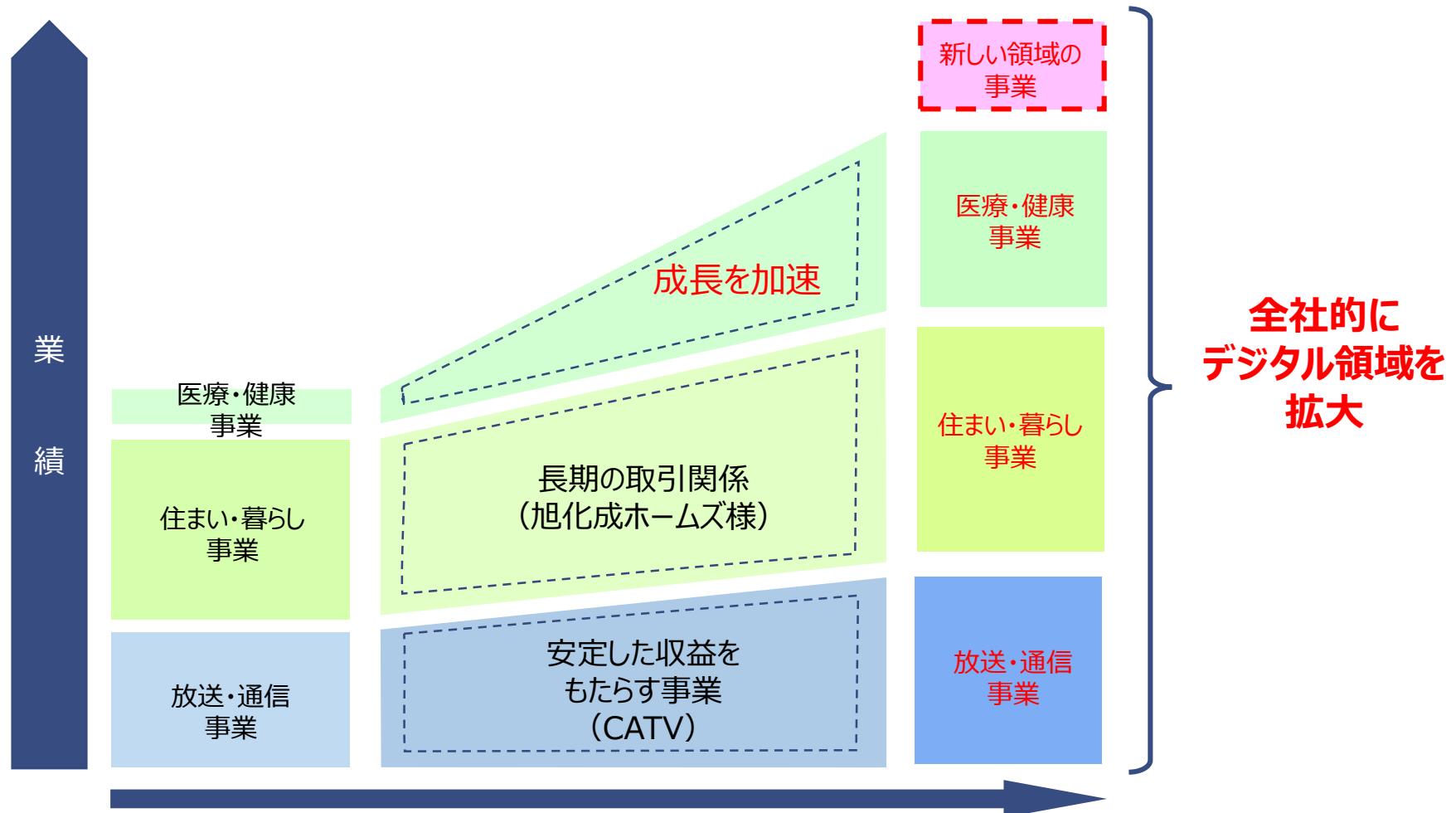
デジタル領域の目標比率

- 目標：売上100億円時点でデジタル領域の**売上割合を30%に増加**



今後の成長見通し

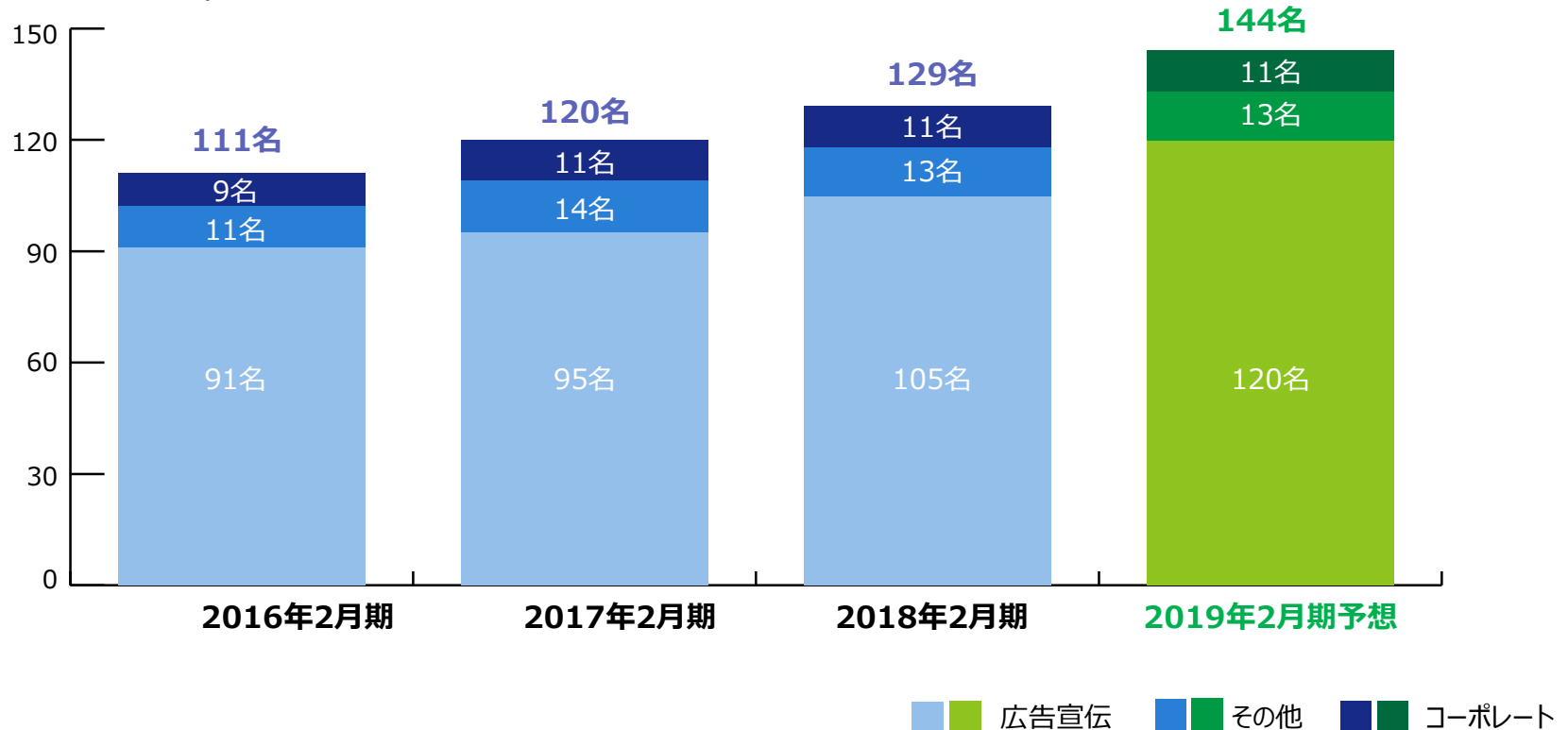
- デジタル領域のサービス開発に注力。M&Aや業務提携も含めて検討



人材採用の取り組み強化

- コア人材である正社員については、順調に人員増加。
- 2018年2月期中に放送・通信事業の「チャンネルガイド」に携わるアルバイト社員を正社員に転換。
- 2019年2月期は新卒採用を強化し、4月に9名が入社(2017年4月は3名が入社)。
中途採用により広告ビジネス経験者、デジタル系人材及びマネジメント層の採用を推進。

(正社員数の推移)



5 株主還元

株主還元

- 配当性向30%を目途に、株主の利益還元を行う方針。
- 2018年2月期は固定資産譲渡に関するキャッシュを借入金の返済等に充てたため、譲渡益を除いた利益で配当。

	16/2	17/2	18/2	19/2 (予想)
1株当たり配当金	25円	38円	42円	42円
配当総額	42百万円	73百万円	81百万円	-
配当性向	21.3%	25.0%	12.5%	31.8%



会社概要

会社概要

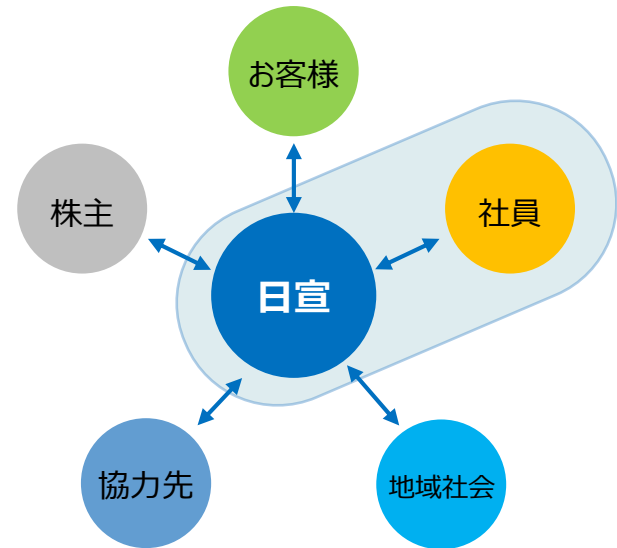
社 名	株式会社 日 宣
創 業	1947年4月
代 表 者	代表取締役社長 大津裕司
資 本 金	322百万円
従 業 員 数	129名（2018年2月末現在）
事 業 内 容	広告プロモーション・コミュニケーションサービス全般 （広告宣伝事業の単一セグメント）
本 社	東京都千代田区神田司町2-6-5 日宣神田第2ビル
拠 点	大阪支社、名古屋支店
グループ会社	株式会社 日宣印刷



本 社
（千代田区神田司町）

全社員の物心両面の幸福を追求します。

社員が喜んで仕事をする会社であることが、お客様への提供価値を高め、株主をはじめステークホルダーを重視した経営に繋がる。

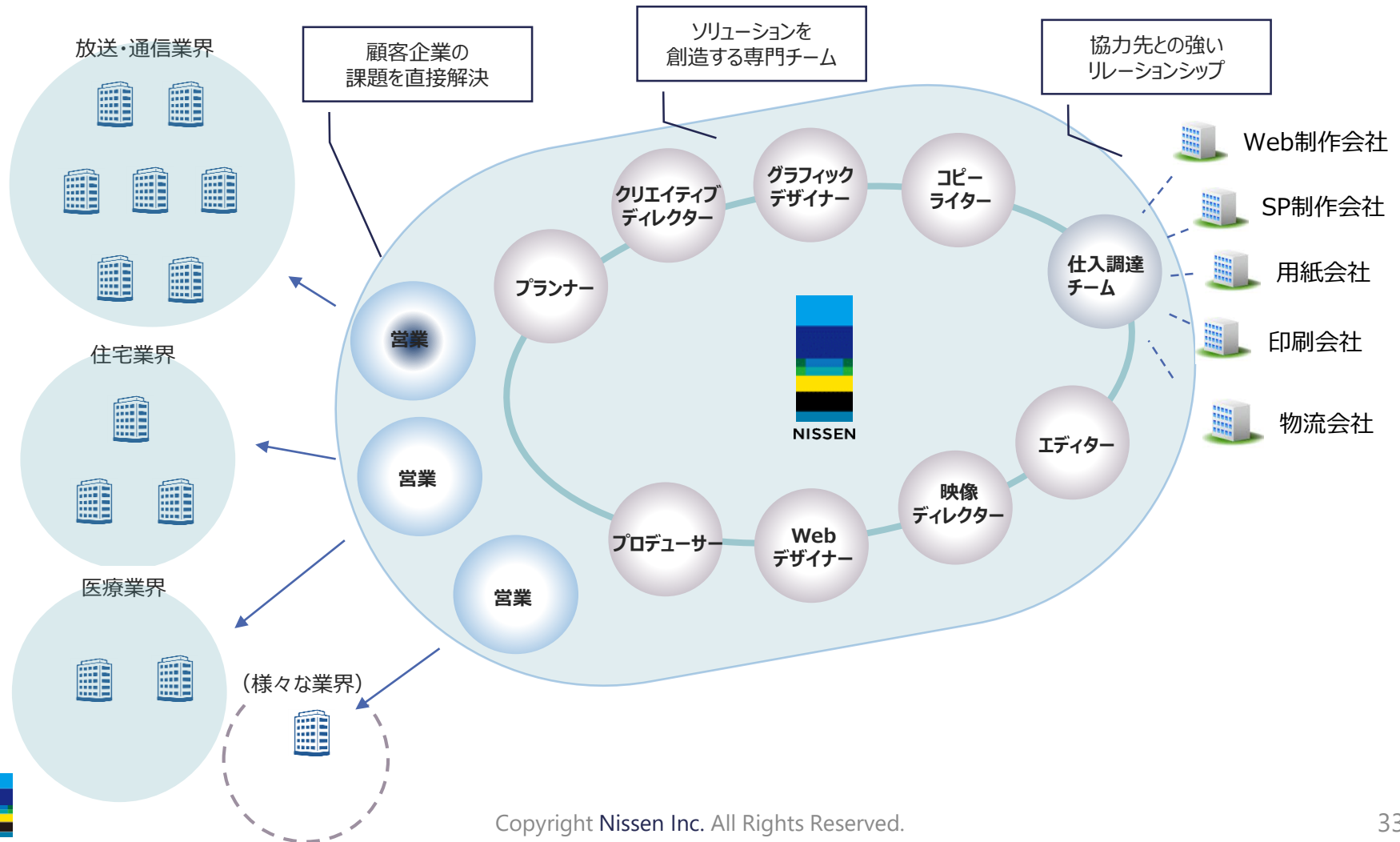


ユニークなコミュニケーションサービスの提供によって、お客様の経営に貢献します。

私たちのゴールはお客様のビジネス課題を解決すること。特化型のマーケティングに基づき、他にはないコミュニケーションの仕組み、メディア、コンテンツ、エクスペリエンスを創造。

当社の特徴

顧客企業と直接取引し、社内の専門チームや協力先と、
最適なコミュニケーションサービスをワンストップで企画制作



本資料の取扱いについて

本資料には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。

これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本資料の記載と著しく異なる可能性があります。

別段の記載がない限り、本資料に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。

当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。

当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

本資料ならびには、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。